

## 川上明君との出会いーボランティアの心ー

金沢犀川ワイズメンズクラブ 北 肇夫

金沢犀川ワイズメンズクラブ設立の折（1993年6月12日）、友人の勧めもあり、①健全な社交クラブを目指し、②異業種交流の場として、また③自己研鑽の場として、④金沢YMCAとともに青少年の健全育成に貢献できるボランティアのクラブとの思い込みで、当クラブに入会しました。

設立時の当クラブのメンバーは、様々な業種の人びとの集まりで自営業の方々、教員、銀行員・損保・エンジニアなどのサラリーマンの方々というように多彩な顔ぶれでした。その中のお一人である川上 明さんとの交流が始まりました。

川上さんは、当クラブの7代、8代、13代の会長職をはじめ副会長、書記、会計、各種事業委員長のほか、22代川村孝治・中部部長（2004年7月～2005年6月）のときのキャビネットの一員として会計の要職を担われました。その間、それぞれの役割を遂行される姿勢は「クラブ員の鑑」であり、かつ、取り組みは常に真摯なものでした。

思い出のひとつに、2005年4月17日（日）京都YMCAリトリートセンター（京都府宇治市）で開催された『京都部・中部部・びわこ部 合同Y・Yフォーラムと夜桜フェスタ』に当クラブから川村孝治（部長）・三谷信三（事務局長）・川上明（部会計）・北 肇夫（部書記）の4名が参加したときのことが印象強く残っています。



（Y・Yフォーラムと夜桜フェスタ 2005）

Y・Yフォーラム開催の趣旨は、ワイズメンズクラブとYMCAの協働理解と交流のためのものでした。固苦しい企画ではなく、在京の方々による焼き鳥やビールなどの模擬店があったり、バンド演奏、フォトコンテストや夜桜をライトアップするための仕掛け、キャンプファイヤーの設営があったりの大掛かりなもので、大勢の人達で大変な賑わいでした。その折、キャンプファイヤーを囲んで当クラブは、青少年の健全な育成のために、金沢YMCAにどのようなサポートができるか等々、真面目に議論をしたことが思い出されます。



（2005年4月25日 新桜坂緑地）

また、2006年6月4日、当クラブ恒例行事「クリーンキャンペーン」として、新桜坂緑地(W坂)や犀川緑地の地域奉仕事業に取り組みました。この事業は、10数年前、川上さんが7代会長のとき初めて実施したと記憶しています。現在も継続しており、通勤・通学の人たちや住人から感謝されています。

このような活動を通して、川上さんから奉仕の喜びを学び、よきアドバイスをいただきました。川上さんに感謝し、衷心よりご冥福をお祈りいたします。